



# 道の友

 2021.1/68号  
since 1975・10


The Friends News

 日本ボーイスカウト富山県連盟  
富山市舟橋北町7-1 ☎076-432-6505  
E-mail: bstoyama@p1.coralnet.or.jp  
http://www.bstoyama.org

日本ボーイスカウト富山県連盟は、昭和25年に県下28隊1千数百名で結成され、令和2年で70周年を迎えました。今号では各団の歴史にスポットを当て、紹介していきます。


 第1回 指導者講習会  
宮崎浜

 第2回 指導者講習会  
勝興寺

 富山県連盟結成式  
富山市電気ビル

 第13回 国体奉仕  
県営富山陸上競技場

 第26回県大会  
安野屋小学校

 第32回県大会  
高岡市

 第42回県大会  
富山市

 県連50周年記念キャンパー  
牛岳温泉スキー場

 第44回県大会  
イオックスアローザ

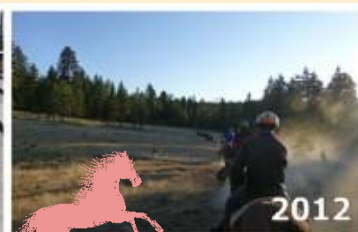
 ベンチャーキャンプ  
有峰野営場

 15NJジャンボリー大集会  
富山スカウトバンド

 第54回県大会  
クロスランドおやべ

 カブラリー ツリーハウス  
呉羽青少年自然の家

 災害ボランティア  
陸前高田市

 第55回県大会  
魚津市

 オレゴン派遣  
キャンプボールドウィン

 台湾のスカウトとスノーキャンプ  
立山青少年自然の家

 23WSJ O502隊  
日本 山口県きらら浜

 WB研修所スカウトコース第1期  
呉羽青少年自然の家

 24WSJ 第15隊  
ウェストバージニア州



# 各団の紹介

## ■ 滑川第1団

滑川の地にスカウト運動が紹介されたのは、京都の大学でスカウト運動に啓発された梅原隆章先生が、是非故郷でもこの運動をとお考えになったからです。幾多の人々と手を携え準備を重ね、昭和23年5月29日に発隊式が挙行され、翌年6月に日本連盟への登録がなされました。

以後、平成2年5月にビーバースカウト隊を発隊させ、平成7年9月から女子スカウトが入隊し、70年以上にわたりスカウト運動を継続しています。



## ■ 魚津第2団



魚津第2団は、昭和27年に結成され、途中10年あまりの休団を経て、平成12年に復団しました。現在は40名のスカウトが在籍しています。今年は新型コロナウイルスの影響で団全体での活動は難しい状況ですが、毎年、盛大なクリスマス会や団キャンプ、カントリー大作戦など、ビーバーからローバーまで一緒に活動する機会も多々あり、隊の垣根を越えて活動しています。これからはウィズコロナで頑張っ活動したいと思います。

## ■ 上市第1団

上市第1団は、2001年10月28日に復団、ビーバー隊11名で活動を再開しました。それから毎年スカウトが増え、ついには5隊が揃い、20周年を迎えることが出来ました。5年前には東種にスカウトハウスを引っ越し、自然豊かな環境の中で、のびのびと活動が出来るようになりました。初めての菊スカウトが誕生してからは、後に続けとばかりに、菊スカウトが増え、オレゴン派遣にも参加しました。上市町から世界に飛び出していくスカウトが誕生したことを誇りに思います。



## ■ 富山第10団



1970年5月5日、大沢野小学校グラウンドにてかがり火の中で多くの来賓を迎え、ボーイスカウト富山第10団が発団。当時次代を担う青少年の健全育成を願い、地元ライオンズクラブが中心となり、ボーイ隊のみのスタートでしたが、3年後にカブ隊、



6年後にカブ第2隊、昭和62年にシニア隊（ベンチャー隊）、発団30周年を機に平成12年にビーバー隊が発隊し、浮き沈みはあるものの多くのスカウトを輩出してきました。多い年には120名余の在籍数を有したこともありましたが、自然の中での活動を大切にしながらこれからも使命を持って運営していきます。





## ■ 富山第14回



富山14回は富山市の富山駅前から神通川までの愛宕小学校校下で活動開始した地域団で、募集地域は近接の桜谷・五福・富山大学付属の各小学校下と口コミで集まったスカウトがいます。歴史は昭和35年に発団登録を行っており60周年を迎えました。発団時のBSは少年団、VSは昭和48年に年長隊として、CSは昭和51年発隊、昭和57年には2隊体制となり翌58年には第2隊が富山4団CSとして団登録、BVSは平成6年発足しました。現在はBSとVSが活動しています。

## ■ 富山第16回



「昭和36年2月6日夜、豊田小学校体育館にて結団式が行われた」記録によると布村清隊長の元、集ったスカウトは24名。当初、ボーイ隊のみの団でしたが平成8年よりは完全団として、今日まで、常に大所帯で野外活動を中心に、長年にわたり、軸のぶれない活動を続けてきました。2011年には、発団50周年記念登山

【0-3000】として、海拔0mから雄山山頂までを全隊リレーで踏破。黄色のチーフの仲間たちは今も「蓮照寺」を我が家とし、100周年へ向けて歩み続けています。



## ■ 富山第17回



当団は、1963年4月、隊長1名スカウト4名でスタートしました。最初の野営は大川寺公園で1泊でした。時には別院の境内（街中）で大々的にキャンプファイアーをしたこともありました。2013年（50周年）を迎え、当初の指導者は80歳を優に超え、いまま陰ながら応援してくださる皆様には感謝です。



本願寺西別院を母体とし、総曲輪の真ん中で活動ができること。多い時には2つの団を合わせ（6団17団）総勢256名もの大きな団となったこともありましたが、今は少なくなりましたが、思い出に負けぬようこれからも街のど真ん中で楽しくスカウト活動を繰り広げていきたいと思っています。

## ■ 富山第19回



当団は、1970年にカブ隊のみという形で発足した、地域団です。本年、50周年を迎えるにあたり記念式典を予定しておりますが、「コロナ禍」でもあり、「時期」「内容」については気を揉みました。現在、金乗坊さんを活動拠点として、主に富山市東部地区のスカウトが在籍しております。

本年度として喜ばしかった事は、「菊章スカウト」が4名誕生したことです。各自の頑張りが一つの形に実を結びました。

最後に、昨今スカウトの数が減少傾向にありますが、地域に根ざしつつ、今後も活動を展開することにより、一人でも多くの子どもたちと喜びを分かち合いたいと思います。





## ■ 高岡第2回

当団は1967年に高岡市西条校下で発団しました。当初はカブスカウト隊のみでしたが、翌年にはボーイスカウト隊が結成され、本格的な活動が始まりました。以来53年、多くの指導者の奉仕や努力により、地域に根ざした楽しいスカウト活動を続けてきました。なんといってもスカウトの「達成感を得た笑顔」が素敵な団です。しかし、ご多分に漏れず、ここ数年はスカウト数が減少、今年度はカブ隊とベンチャー隊の2隊のみの編成となっております。先人の築き上げた歴史ある団の存続を図るべく、努力して参ります。



## ■ 高岡第8回



昭和39年に戸出第1回として発団し、41年には戸出町が高岡市への編入合併に伴い高岡第8回として再出発しました。その後増員により57年には校下を東西に分け、戸出西部地区を高岡第28回として分封しましたが、現在は団を一つにして戸出・中田校下を中心に高岡第8回として活動をしています。少人数の団であり部門を超えて交流をする機会も多く、スカウト・指導者共にとても仲の良い団です。

ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊それぞれの部門がスカウト活動を楽しんでいます。

## ■ 高岡第9回

昭和24年11月に高岡第8隊として加盟登録し、昭和28年5月には高岡第9回として発団し川原小学校区を中心に活発な活動を行ってきました。その後スカウト数が増え昭和50年に高岡第19回を分封発団し、兄弟団として切磋琢磨し活動してきましたが、児童の減少もあり平成2年にやむなく合併し現在の高岡第9回の体制になりました。これからも地域に根ざした活動を展開しスカウトの成長を見守っていききたいと思います。



## ■ 高岡第11回



昭和38年に高岡第1回より分封し、高岡第11回として発団しました。57年もの長きに亘り活動を継続し、その間、高岡第10回、高岡第13回を分封して活動の輪を広げることができました。歴代の指導者や団委員の皆さんの努力の賜と感謝しています。近年、ビーバー隊も復活しスカウトの底上げの準備も整いつつある中、昨年はコロナ禍で多くの大会や催し物が中止され、大きな制約の中での活動となりました。一日も早くボーイスカウトらしい魅力ある活動が再開できる日が来ることを願うばかりです。





## ■ 高岡第16回

高岡第16回は、高岡市の中心部、高陵中学校校区で活動をしています。今回は我が団のお宝を紹介します。



- ① 渡辺昭元日本連盟総長から頂いた色紙です。初代後藤新平総長の言葉で「人のおせわをするように…」と書かれています
- ② 35回の交流がある「奈良第17団」です。3年ごとに奈良公園での野外活動や立山キャンプなどで友情を深めています。
- ③ 「歩いて上がる立山登山」これは数年間かけて、区間を8区間に分けてリレー形式で自宅から雄山頂上までを結ぶもので「旧北陸道」や「歩くアルペンルート」でつないでいます。

このように、楽しく「わくわくドキドキの活動」を心がけて活動しています。

## ■ 高岡第21回

高岡第21回は高岡市北部の能町校下を中心とした地域団です。赤いチーフに万葉の花「かたかご」を刺繍し、団のシンボルとしています。昭和52年の発団以来、一人でも多くの子供たちが参加できるよういつも我が団の門戸を開け、スカウトの募集に力を入れてきました。

その結果、ビーバー隊～ローバー隊まで5こ隊編成となっており、各隊は年代に応じた堅実なスカウティングに取り組んでいます。これからもこの姿勢を変えることなく、団一丸となり「質素・誠実」のカラーを継続していきます。



## ■ 高岡第26回



1977年に高岡第6団より分封し発団、今年で43年目を迎えます。野村小学校校区という高岡随一のマンモス校区を拠点とし、隣接する大門・下関・二塚からもスカウトを受け入れています。近年は、指導者の大幅な若返りを実現させ、当団でスカウトとして活躍した隊長が、「恩返し」といわんばかりに活気あるプログラムを展開しています。それに伴い、一時は減少傾向にあったスカウト数も徐々に復活し、絶好のスパイラルが生まれつつあります。

## ■ 高岡第29回

当団は、昭和28年（1953）に結成、平成17年（2005）に高岡市と合併後高岡第29団となりました。昭和40年代から鼓隊があり、当町のまつりでは、毎年パレードが行なわれていました。砺波地区でスカウトバンドを編成して、日本ジャンボリーにも参加していましたが、近年は、スカウトの減少で鼓隊の活動は休んでいます。また、昭和62年（1986）当町で開催された県大会以来、オールナイトハイクを行っています。今年は、コロナウィルスの影響で、7月から隊活動を再開しています。





## ■ 氷見第2団



令和2年春に「団50年章」をいただきました。  
35年前には、指導者の不在により廃団を話し合ったこともありましたが、それを何とか乗り越え、歴代のスカウトや指導者が活動をつないできました。発団50周年を迎えることができ、地域の皆様をはじめ関係各位に感謝申し上げます。  
今後も「ちかいとおきて」を堅持し、「セーフ・フロム・ハーム」の考えを強く意識しながら、よりよいスカウティングを続けていきます。

## ■ 氷見第5団



氷見第5団は、氷見市宮田地区を中心に昭和54年にカブスカウト隊が発足し、40年以上の歴史を持つ団です。その後、平成元年にビーバー隊、平成18年にボーイ隊、平成22年にベンチャー隊が発隊しました。  
現在はビーバー隊1名、カブ隊2名、ボーイ隊2名とスカウトの人数は少ないですが、  
団全体で活動する機会が多いため、全員が仲良く暖かい雰囲気の中で活動しています。

## ■ 射水第3団



射水市唯一の団で市内各地・高岡市牧野地区のスカウトが在籍しています。ビーバー隊は今年の夏イワナのつかみ取りに挑戦。その場でから揚げにしたり持ち帰って塩焼きにしたり楽しく美味しい活動でした。カブ隊は庄川で川遊び。肌寒い天候でしたがカブスカウトは元気に遊びます。課題は5種類の生き物。見つかるかな～。

毎年9月のスカウトの日には団のスカウト全員と保護者も一緒に新湊大橋西詰の海岸を清掃しています。コロナ禍ですが、感染に気を付けて元気に活動しています。



## ■ 砺波第1団



日本連盟那須野営場には本館を出たところにミズナラの大木があります。その下に落ちていた大きなドングリを数個持ち帰り、発芽した苗木を発団50周年記念式典でスカウト会館の広場に当時の隊長、副長たちが植樹しました。それから12年経ち、樹高も7メートル以上に成長しています。この樹からまたドングリが落ち、その苗木をスカウトたちが家で育てています。B-Pの絵にあるようにスカウトたちもいっしょに大きく育つようにと願っています。





## ■ 小矢部第3団

小矢部第3団は昭和53年に発団、昭和53年にC S隊発隊、平成11年にB S隊発隊、平成15年にB V S及びV S隊近年にはR S隊の活動もスタートしています。

初団時は地元の大谷校区内だけのスカウトでしたが、今は小矢部市全域にスカウト活動の参加者が居るように成りましたが、今年は、新型コロナ感染対策で3か月間活動を自粛してきましたが、6月には入隊・上進式、7月にはカブ隊・ビーバー隊の隊集会、8月にはボーイ隊の集会を開催、9月には「スカウトの日」の活動を実施、コロナ感染症と新しい生活環境の中活動をしています。



## ■ 南砺第1団

昭和33年（1958）1月8日、登録第2592号。これがBS南砺1団の前身「東砺波第2団」の加盟承認番号です。川田哲三氏を初代隊長として14名での発足でした。その活動は、城端1団に引き継がれ、人口1万人の小さい町に最盛期で6個団が存在し、現在の南砺1団に姿を変えています。

かつて、平成8年（1996）には城端町で第39回県大会も開催し、またNJ、NV、WSJへの派遣や指導者訓練への奉仕や参加も盛んでしたが、少子化の波にのまれ、現在では少人数での活動となりつつも、63年間にわたり活動を続けています。



## ■ 南砺第3団



1924年に福野貴和少年団が起源となり、1959年ボーイスカウト東砺波第5団として発団。3年後団名を福野1団、2団、3団と分封。1968年に笠井健二氏が富士スカウトに認定(県第1号)他3名も富士章受章！

2004年市町村合併により南砺第3団へ呼称を変更。1968年にスカウトドラム隊を結成。第7回～第15回の日本ジャンボリーに9回ドラム隊として参加し大会を盛り上げたことも。変遷としては色々ありますが、意志を受け継ぎ次世代へ繋げることが大切なことと実感します。



## ■ 富山ローバースカウトの会

こんにちは！富山ローバースカウトの会（TRK）です！TRKでは県内のローバースカウトが集まり活動しています。月に1度公開しているTRK通信では今までの活動で作った料理やスカウティング、季節を楽しむことができる内容を中心に取り上げています。

県連盟ブログで公開しているので是非ご覧ください。取り扱って欲しい内容のリクエストなどもお待ちしております！

ローバースカウトになったらTRKで待っています！





## ■ 第23回全国スカウトフォーラムに参加して



今回は感染症の影響によりZOOMによるオンライン会議だったので最初は不安でしたが、全国のスカウトが同じ問題について考え、意見を出し合ったことで、たとえ画面越しであったとしてもつながりを感じることができてとても楽しかったです。

このフォーラムで特に印象に残っているのは各グループ（6人）での話し合いです。「持続可能な社会を目指すのだからみんなが続けられるようにするために楽しいものがある。」ということでSDGsを取り入れたキャンプの例をどんどん出していました。キャンプについて話すみんなの目はとてもきらきらしていて一番話し合いが盛り上がったと思います。そしてこの話し合いのおかげで大切なことを学べた気がします。世の中が落ち着いたら今度は直接みんなと会いたいです。（富山第10団 鈴木 彩）



## INFORMATION

### ■ 次回のボーイスカウト講習会 ■

|      |                       |     |                |
|------|-----------------------|-----|----------------|
| 日 時  | 令和3年3月21日（日）9時30分～17時 | 会 場 | 砺波青少年自然の家      |
| 主任講師 | 大坪 喜世美 LT             | 参加費 | 3,000円（教材・食事代） |

### ■ 令和2年度表彰に輝く人々 ■

令和2年度ボーイスカウト関係の次の方々が表彰されました。

心からお祝いを申し上げ、今後ますますのご活躍と当運動へのご支援をいただきたいと思います。

|                 |                     |                   |
|-----------------|---------------------|-------------------|
| ◎富山県教育功労者表彰     | ・小原 勉（副理事長・南砺1）     |                   |
| ◎ボランティア活動推進会長表彰 | ・田中 景子（理事・富山17）     |                   |
| ◎日本連盟かつこう章      | ・生地 貞男（射水3・団委員長）    |                   |
| ◎日本連盟褒状         | ・麻畑 秋市（高岡11・ビーバー隊長） | ・岩川 剛（砺波1・カブ隊長）   |
|                 | ・青山 美智枝（氷見2・ビーバー隊長） | ・東海 直樹（氷見2・ボーイ隊長） |

### ■ 第63回ボーイスカウト富山県大会 ■

|             |                                                                                                                                              |                          |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 【テーマ】       | SCOUTING FOR TOMORROW ～明日を目指して～                                                                                                              |                          |
| 【開催日】       | 令和3年4月25日（日） 準備：令和3年4月24日（土）                                                                                                                 |                          |
| 【開催場所】      | 上市町内 式典会場：総合体育館-アリーナ- 祭典会場：丸山総合公園内・上市町内                                                                                                      |                          |
| 【参加章】       | 大会缶バッジ                                                                                                                                       |                          |
| ビーバースカウト部門  | 【あしたの森のなかま】                                                                                                                                  | 正面広場・小アリーナ・芝生ひろば・人工芝ゲレンデ |
| カブスカウト部門    | 【アメリカ・インディアンの知恵と技！】                                                                                                                          | 多目的広場・自然観察遊歩道            |
| ボーイスカウト部門   | 【峰のふもとで道を探せ】                                                                                                                                 | 上市町内                     |
| ベンチャースカウト部門 | 【The Challenge To Tomorrow】                                                                                                                  | 上市町内                     |
| 【スカウト顕彰】    | 伝達は式典の中でスカウトにお渡しします。<br>同封の申請書にて、令和3年3月26日（金）まで県連事務局へ提出してください。<br>今回は、顕彰スカウトをプロジェクターとスクリーンを使用し、紹介する予定です。<br>写真データの提出に関しては、スカウト顕彰の要項を後日配布します。 |                          |
| 【販売コーナー】    | スカウト用品等の販売コーナーを会場内に設けます。<br>詳細な場所、販売時間等は実施要項にてご案内いたします。                                                                                      |                          |



※BVS・CS部門の祭典プログラムの詳細については、3/14午前中に行う県大会参加隊長会議でご説明いたします。

BS・VS祭典プログラム、総務・式典については別途ご案内いたします。

### 編集後記



2020年はコロナウィルスに明け暮れ、スカウトたちもリーダーもマスクと検温の日々がまだまだ続いています。こんな時こそスカウトスピリッツ！未来を切り開く力になりたいものです。

そんな中、Zoomでの編集会議を交えながらも、道の友第68号が無事発行できたことに感謝します。

次号では通常通りの活動をお伝えすることを願いつつ、編集後記といたします。（富山第16団 松田）